

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 600 事業名 消防相互応援事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防費	
	大事業		消防事業	
事項		消防相互応援事業		

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	5	消防広域応援体制の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	大浦 正男 (428-0119)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	複雑多様化、大規模化する災害に対し、単独市長村の消防のみでは対応困難となる場合があるため、近隣市町村の消防本部や事業所等と事前に協定を結び、有事の際、スムーズな応援活動ができるよう体制の整備を図ること、また、総務省消防庁が設置した全国規模の応援体制である緊急消防援助隊の訓練等に参加するなどして和歌山県の代表消防本部として、その整備の一端を担うことを目的とします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援体制を整備するための阪和自動車道消防協議会、阪和林野消防協議会、和歌山北部臨海広域消防協議会、消防活動資機材等調達協議会の相互応援に係る会議及び訓練等の実施</li> <li>・緊急消防援助隊や和歌山県下消防広域相互応援協定の運用等に関する会議や訓練等の参加</li> </ul>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		会議 18回 研修 1回 訓練 4回	会議 11回 研修 2回 訓練 3回	会議 11回 研修 1回 訓練 4回		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	105	105	192	109	192	105	128	128	128	128
	伸び率 (%)	-	-	82.9%		0.0%		-33.3%		0.0%	
	人件費	常勤職員	12,772	12,835	16,196	11,416	7,031	6,974	6,323	6,323	6,323
		非常勤職員	209				75	75	189	189	189
		小計	12,981	12,835	16,196	11,416	7,106	7,049	6,512	6,512	6,512
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	105	105	192	109	192	105	128	128	128	128	
所要人数	常勤職員	1.67	1.67	2.11	1.51	0.93	0.92	0.84	0.84	0.84	
	非常勤職員	0.14				0.04	0.04	0.07	0.07	0.07	

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	会議、研修会、訓練への参加					年度目標値	18	18	18	18	18
						実績値	23	16	16		
	単位	回	全体目標値	18	全体目標達成度	88.9%	年度別達成度	127.8%	88.9%	88.9%	
						年度目標値					
						実績値					
成果指標	応援出動の実施					年度目標値	—	—			
						実績値	22	9	11		
	単位	件	全体目標値	—	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	複雑多様化、大規模化する災害に対し、近隣市町村の消防本部や事業所等と、また総務省消防庁が設置した全国規模の応援体制である緊急消防援助隊活動などスムーズな応援活動ができるよう体制を維持していくことが必要不可欠です。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	